

# きいちゃんの体験レポート



わかやま  
オススメ

## 紀州漆器 蒔絵体験

身近に楽しめる体験などから  
わかやまの自然や歴史文化を知ろう！

日本の三大漆器のひとつであり、和歌山県を代表する伝統的工芸品として有名な「紀州漆器」は黒江塗とも呼ばれ、海南市の黒江地区を中心に生産されています。

その起源は室町時代、紀州木地師によって渋地椀が作られたのが紀州漆器の始まりといわれています。江戸時代になって一層盛んになり、本堅地板物漆器の登場、蒔絵による装飾と次第にその技術を発展させていきました。

「紀州漆器伝統産業会館 うるわし館」ではその技法を使った蒔絵体験ができ、楽しみながら伝統を学ぶことができます。

※体験をご希望の際は、事前に電話でお申し込みください。



伝統技「蒔絵」に  
チャレンジするよ

丸盆、小判盆、弁当箱の  
3種類から選べるよ

### 蒔絵体験の流れ



① 好きな絵柄を選んで下絵を目安にし、蒔絵したい部分に塗料を塗ります。

② 塗料を塗ったところに、金銀やカラフルな色粉を蒔(ま)きます。

③ ①と②を繰り返し、全体を整えたら完成です。仕上がった作品は、当日持ち帰ることができます。



体験の後は黒江の歴史ある町並みを散策してみよう



お問い合わせは  
紀州漆器協同組合 ☎073-482-0322



### きいちゃんインタビュー

体験講師の木下明彦さんにお聞きしました。  
漆文化を多くの方に知っていただきたいという思いで、紀州漆器協同組合では25年前から蒔絵体験が始まりました。  
体験中は講師の指導を受けながら描き進めることができますので、安心して体験することができます。筆を使った繊細な技法や伝統を感じながら、オリジナルの作品が仕上げられるので、県内外問わず海外のお客様にも大変好評です。代用漆なので、かぶれる心配もなく通年楽しむことができます。  
ぜひ気軽にお越しください。



## 令和元年度 和歌山県文化表彰

文化の向上発展に顕著な  
功績のある方々を表彰しました。  
(50音順・敬称略)

### 文化賞

さかい としゆき  
酒井 敏行

医学者

湯浅町出身  
京都府在住



### 文化奨励賞

こやなぎ ゆたか  
小柳 裕

画家

和歌山市出身  
京都府在住



### 文化功労賞

いしくろ さやか  
石黒 晶

作曲家

和歌山市出身  
大阪府在住



はやし まさひこ  
林 雅彦

国文学者

東京都出身  
千葉県在住



みやもと かつひろ  
宮本 勝浩

経済学者

和歌山市出身  
大阪府在住



## 新規会員を募集しています

一般社団法人和歌山県聴覚障害者協会  
会長: 福田美枝子

聴覚障害者の人権擁護のための活動や、聴覚障害者と手話に対しての正しい理解を広めるための啓発活動を行っています。また、2017年12月に和歌山県手話言語条例が制定され、手話を学ぶ場の拡大に取り組んでおり、手話教室の開催や講師派遣についても実施しています。さらに、聴覚障害者のための福祉事業所や介護事業所、住宅型有料老人ホームの運営も行っています。

聴覚障害や手話などについて相談したい方、活動にご協力いただける方は、ぜひご入会ください。

問: 一般社団法人和歌山県聴覚障害者協会

☎073-488-5243 FAX073-488-5233



## 外国人労働者との共存

岡山県国際課

☎073-441-2055

近年、日本に在留する外国人労働者は増加傾向にあります。少子高齢化社会が進行する中で、農業や介護などの分野から外国人材の受け入れを求める声が上がっています。これに伴い、昨年4月に改正入管法が施行されました。  
国籍や民族の相違を理由に人権を制約することは許されません。新たな外国人材受け入れが始まった今こそ、外国人の人権が尊重され、多文化が共生する社会に向け、私たち一人ひとりが考えなくてはなりません。  
また、これらの人々の環境に目を向けた時、働きやすく生活しやすい環境が整っているでしょうか。外国人労働者の過酷な労働環境、人権侵害が大きな社会問題となっています。私たちは外国人労働者を労働力としてではなく、社会で共に生活する隣人であることを再認識する必要があります。  
国籍や民族など異なる人々が文化の違いを認め合い、対等な関係を築くことが大切です。同じ地域に住むもの同士、手を取り合いより良い地域を作りましょう。